

新ごみルール of 成果と課題は？

『7月から新ごみルールが始まりましたが、ごみは減っているのですか』



『ごみの分別を守らない人がいるので、新ごみルールの周知を徹底してほしいです』

『アパートやマンションのごみ出しのマナーが悪くて困っています』

市長から 7月から新ごみルールがスタートしましたが、廃棄ごみ量については、平成29年度の目標としていた一人1日当たり400gに迫る勢いで減っており、あらためて、環境への意識が高い札幌市民の力を感じています。現在、ごみパト隊を清掃事務所に配置して、ルールの徹底を呼び掛けていますので、今後も地域の皆さんとの連携を強めながら、周知を図っていきます。

※廃棄ごみ:資源化できず、焼却処理や埋め立て処分しなければならないごみ

ごみ



カラスに負けるな！

『カラス対策で困っています。いいアイデアはないですか』

『サークルを置いていないごみステーションがカラスに荒らされています。ネットやサークルを設置する援助をしてほしいです』

市長から カラス対策に効果のある方法を市民の皆さんと市で考え、良い方法があれば広めていきたいですね。市では、ネットやカラスよけサークルなどの購入費用を補助し、ごみステーション管理を支援しています。

除雪

地域に合わせた除雪を！

『除雪のときの雪の置き方が、向かいの家よりわたしの家の方がいつも多いです。平均的に雪を置いていてください』

『歩道が雪で埋まり、子どもたちが車道を歩いている道路があります。歩道の除雪もしてほしいです』



市長から 除雪に対する地域ごとの課題を解決するために、地域・除雪事業者・市による懇談会を500以上の町内会で開催しています。地域の実情を共有し、話し合いの中から除雪の問題を解決していきましょう。



除雪パートナーシップ制度の今後の見通し

『市と町内会が費用を出し合って生活道路を排雪する“除雪パートナーシップ制度”の地域支払額などについて、今後の見通しを教えてください』

冬のルールを守ってほしい

『わたしたちの住宅地で路上駐車があり、除雪車が入れないことがあります。警察と連携して強制撤去はできないのでしょうか』

『夜中に道路に雪を出す人がいます。敷地内で雪を処理するような条例をつくることはできないのですか』

市長から ダンプトラックの減少や雪たい積場の郊外化といった課題を抱えており、市では排雪量を減らす取り組みを市民と一緒に進めています。地域支払額の変更をせずに現状の制度を維持していくためには、皆さんの力が必要ですので、ご協力をお願いします。

市長から この冬、今後10年間の新しい雪の計画を作りました。その中で、冬の市民生活ルールの徹底を重要課題の一つとして定めています。改善されない場合は条例を制定することも検討しますが、今は、パトロールを強化するなど、意識の啓発に力を入れていきます。